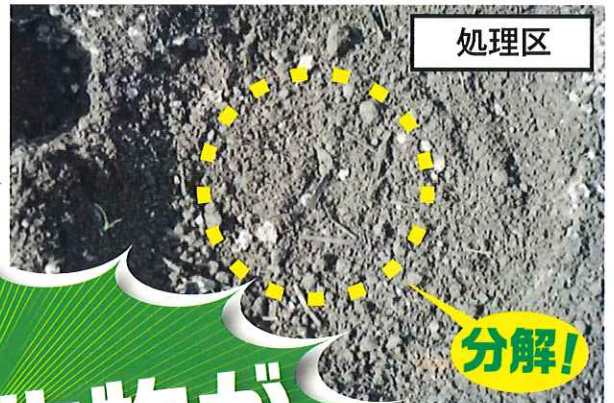


分解ヘルパー

有効菌<バチルス菌>群配合肥料

【作物】稲わら 【効果】腐熟促進 【時期】9月~10月 【使用量】4袋/10a



生きた微生物が
残さを分解!



【作物】コマツナ 【効果】残さ分解 【時期】6月処理 【使用量】3袋/10a

その他の効果

葉菜類(ホウレンソウ、キャベツ等)、果菜類(トマト、なす、いちご等)の残さ、残根対策
稲わら、麦稈、大豆・小豆等の腐熟促進・ばれいしょ等、野良生え対策

特長

- 有機物分解効果を持つバチルス菌を生きたままの状態を含んだ資材です。
- 残さを分解することで、土壤消毒する際にムラが発生することを減らします。また、素早く次の作を開始できます。
- 分解された残さは、肥料成分として次の作で作物に活用されます。
- 土壤中の微生物相を改善し、フカフカの土を作ります。



生きた微生物が残さを分解!

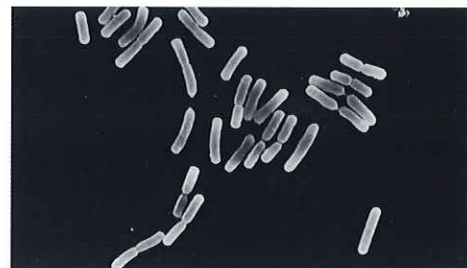
成分

保証成分量			標準含有成分量(乾物中)											財団法人日本肥糧検定協会分析例
窒素 全量	りん酸 全量	カリ 全量	有機物	腐植酸	石灰 可溶性	苦土 可溶性	鉄	ホウ素	マンガン	銅	亜鉛	モリブデン	pH	
3%	3%	1%	61%	14%	7%	1%	0.40%	0.01%	0.03%	45ppm	190ppm	17ppm	6.7	

主な含有物

組成	はたらき
有効菌群 (バチルス菌など)	● 作物残さを強力分解する酵素を生産
菜種油かす 米ぬか油かす 乾燥菌体	● 有効菌のエサ ● 土壌の物理性、化学性等の改善
尿 素 硫 安 過 石	● 作物残さの発酵促進

バチルス菌について



Bacillus subtilis 芽胞の電子顕微鏡写真

- 自然界にいる納豆菌の仲間であり、安心して使用いただけます。
- 芽胞を形成するため、長期間の保存が可能です。
- 耐熱性を持つので、太陽熱消毒をしても生き残って残さ分解活動を続けます。

使用方法

使用効果	使用量	使用方法
稲わら・野菜等残さの分解促進 緑肥の腐熟促進	3~4袋(45~60kg)/10a	散布、すき込み
堆肥の発酵促進	3~4袋(45~60kg)/t堆肥	散布、混ぜ込み
太陽熱消毒との併用	8~10袋(120~150kg)/10a	太陽熱消毒前に散布 すき込み
土壌消毒後の微生物相改善	8~10袋(120~150kg)/10a	土壌消毒前または 後(ガス抜き後)に散布 すき込み(同時処理可)

使用上の注意

- 多湿を避けて保管し、開封後は速やかに使用してください。

販売 出光アグリ株式会社 <http://www.idemitsuagri.com/>

□ 関東営業所 〒110-0005 東京都台東区上野6-16-19 新丸屋ビル3階 Tel.03-6848-6181

□ 中部営業所 〒512-0923 三重県四日市市高角町2997 Tel.059-326-6871

□ 九州営業所 〒839-0823 福岡県久留米市善導寺町与田282-11 Tel.0942-47-4798